

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**

PAT-NO: JP02000093529A  
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2000093529 A  
TITLE: HEALTH TOOL  
PUBN-DATE: April 4, 2000

## INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
SATO, TAKASHI	N/A

## ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
SATO TAKASHI	N/A
SHIBATA HIROSHI	N/A
KUWABARA YOSHIKO	N/A
SHINOHARA YASUYUKI	N/A

APPL-NO: JP10283279

APPL-DATE: September 19, 1998

INT-CL (IPC): A61N002/08, A61L009/01 , A61N001/10

## ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To oppose the generated electrostatic potential and minus ion to a body, electrically stimulate the effective point of Oriental medical science, and give a comfortable stimulation to the body by storing a minus ion and electrostatic potential generating member for generating minus ion and electrostatic potential in a surface skin bag.

SOLUTION: In this cushion type health tool, tourmaline particles are linearly held at prescribed intervals on the surface of a base cloth by use of

an adhesive member to provide a tourmaline functional cloth 6, the functional cloth 6 is folded in two, a required quantity of cotton 7 is interposed in the inside thereof to form a constant thickness, and a required cotton fixation 8 is performed. The resulting cloth is stored in a sealed bag 9 made of nonwoven fabric and other finely woven fabrics so that the tourmaline particle fallen from the base cloth is sealed therein, a minus ion and electrostatic potential generating member 2 is provided, and the resulting bag is put in a surface skin bag 10 made of natural fiber such as cotton or hemp. The electrostatic potential and minus ion generated from tourmaline particles give a comfortable stimulation to the body.

COPYRIGHT: (C) 2000, JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 許出願公開番号

特開2000-93529

(P2000-93529A)

(43) 公開日 平成12年4月4日 (2000. 4. 4)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テマコード <sup>*</sup> (参考)
A 6 1 N 2/08		A 6 1 N 1/42	F 4 C 0 5 3
A 6 1 L 9/01		A 6 1 L 9/01	R 4 C 0 8 0
A 6 1 N 1/10		A 6 1 N 1/10	4 C 1 0 6
		1/42	B

審査請求 未請求 請求項の数 9 F D (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願平10-283279

(22) 出願日 平成10年9月19日 (1998. 9. 19)

(71) 出願人 595098929

佐藤 敬

千葉県流山市南流山6丁目5番2号 第一

千代田マンション302号

(71) 出願人 597133949

柴田 博

埼玉県浦和市前地1丁目2番22号

(71) 出願人 597133972

桑原 義子

千葉県市川市南八幡4丁目4番20号 市川

ルーフ・ガーデンハイツ504

(74) 代理人 100069992

弁理士 増田 政義

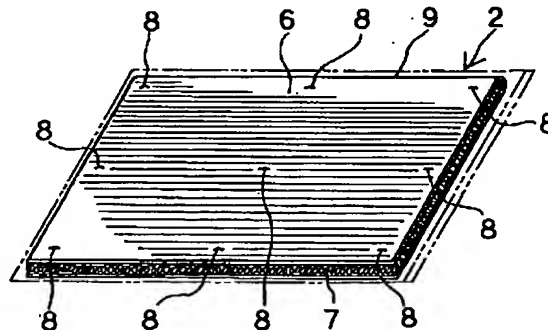
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 健康具

(57) 【要約】

【課題】 この発明は、マイナスイオン・静電位発生部材単独もしくはハーブと複合を主とする健康具の提供。

【構成】 マイナスイオンおよび静電位を発生するマイナスイオン・静電位発生部材単独または所要の芳香を発生するハーブ袋をマイナスイオン・静電位発生部材と共にもしくは独立に、表皮袋に収納してなる。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 マイナスイオンおよび静電位を発生するマイナスイオン・静電位発生部材を表皮袋に収納してなる健康具。

【請求項2】 所要の芳香を発生するハーブ袋をマイナスイオン・静電位発生部材と共にもしくは独立に、表皮袋に収納してなる健康具。

【請求項3】 トルマリンの粒子を接着部材で基布の表面に所定の間隔で線状に保定してトルマリン機能布を設け、このトルマリン機能布を二つ折りし、その内側に綿を所要量介在させて一定の厚みを構成すると共に、所要の綿止めを為し、これを基布から脱落したトルマリン粒子が外に出ないように、不織布その他緻密に織られた布で作った密封袋に収容し、マイナスイオン・静電位発生部材を設け、このマイナスイオン・静電位発生部材を綿、麻等の天然繊維で織った布により作った表皮袋に収納してなるクッション型の健康具。

【請求項4】 袋体の内面に出入口を設け、その出入口より内部の収容部にマイナスイオン・静電位発生部材を収容自在であると共に、両端部に連結手段を設け、この両端部の連結手段により連結して環状に構成し、手首または足首その他の部位に巻き付けることができる環状の健康具。

【請求項5】 収容部にマイナスイオン・静電位発生部材にハーブ袋を混在し、または別にハーブ袋を収容する独立の収容部を設けハーブ袋を収容する請求項4の環状の健康具。

【請求項6】 その長さ方向に等間隔または任意の間隔で所要の大きさの収容部を設け、この各収容部に連通する出入口を一面に設け、各収容部にマイナスイオン・静電位発生部材を収容自在であると共に、両端部に連結手段を設け、この両端部を連結手段により連結して環状に構成し、腰部等に巻き付けることができる環状の健康具。

【請求項7】 収容部に、マイナスイオン・静電位発生部材と共にハーブ袋を混在収容し、もしくはマイナスイオン・静電位発生部材に代えてハーブ袋を収容する請求項6の環状の健康具。

【請求項8】 ハーブ袋を収容する独立の収容部を設けてなる請求項7の環状の健康具。

【請求項9】 使い捨てカイロ等の化学発熱体を収容する収容部を設けてなる請求項7の環状の健康具。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、トルマリン単独および他の静電位、磁気発生部材との組み合わせまたはそれらとハーブとの複合による健康具に関する。

## 【0002】

【従来の技術】トルマリンとは、硼素を含む複雑な硅酸化合物で、さらに鉄、苦土、礬土、リシウム等の元素

を含有するもので、鉱物化合物元素を複雑にしている例は、非常にマレであるといわれている。そして、誘電体で、粒子が自発分極を持ち、静電位およびマイナスイオンを発生させることが知られている。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】トルマリンが前記のように、誘電体で、粒子が自発分極を持つため、この発明は、トルマリン粒子を、布の表面にトルマリン粒子と固着剤と共に線状または面状に付着することによって、平均化したトルマリン粒子面を設け、その発生する静電位およびマイナスイオンを身体に对面させ、東洋医学のツボを電気的に刺激し、身体に、特に内蔵に良い刺激を与える。また、トルマリン粒子面からマイナスイオンを発生し、マイナスイオンによる身体の細胞の活性化を上げようとするものである。

【0004】また、前記トルマリンによる静電位およびマイナスイオン効果に加えてハーブによる健康増進効果を重奏的に図ろうとするものである。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】マイナスイオンおよび静電位を発生するマイナスイオン・静電位発生部材を表皮袋に収納してなる健康具にある。

【0006】所要の芳香を発生するハーブ袋をマイナスイオン・静電位発生部材と共にもしくは独立に、表皮袋に収納してなる健康具にある。

【0007】トルマリンの粒子を接着部材で基布の表面に所定の間隔で線状に保定してトルマリン機能布を設け、このトルマリン機能布を二つ折りし、その内側に綿を所要量介在させて一定の厚みを構成すると共に、所要の綿止めを為し、これを基布から脱落したトルマリン粒子が外に出ないように、不織布その他緻密に織られた布で作った密封袋に収容し、マイナスイオン・静電位発生部材を設け、このマイナスイオン・静電位発生部材を綿、麻等の天然繊維で織った布により作った表皮袋に収納してなるクッション型の健康具にある。

【0008】袋体の内面に出入口を設け、その出入口より内部の収容部にマイナスイオン・静電位発生部材を収容自在であると共に、両端部に連結手段を設け、この両端部を連結手段により連結して環状に構成し、手首または足首その他の部位に巻き付けることができる環状の健康具にある。

【0009】収容部にマイナスイオン・静電位発生部材にハーブ袋を混在し、または別にハーブ袋を収容する独立の収容部を設けハーブ袋を収容してもよいものである。

【0010】その長さ方向に等間隔または任意の間隔で所要の大きさの収容部を所要複数箇所に設け、この各収容部に連通する出入口を一面に設け、各収容部にマイナスイオン・静電位発生部材を収容自在であると共に、両端部に連結手段を設け、この両端部を連結手段により連

結して環状に構成し、腰部等に巻き付けることができる環状の健康具。

【0011】前記複数箇所の収容部に、マイナスイオン・静電位発生部材と共にハーブ袋を混在収容し、もしくはマイナスイオン・静電位発生部材に代えてハーブ袋を収容してもよいものである。

【0012】前記複数箇所の収容部と別にハーブ袋を収容する独立の収容部を一箇所または複数箇所に設けてもよいものである。

【0013】使い捨てカイロ等の化学発熱体を収容する収容部を設けてもよいものである。

【0014】

【発明の実施の態様】トルマリンの粒子を接着部材で基布の表面に所定の間隔で線状に保定してトルマリン機能布を設け、このトルマリン機能布を二つ折りし、その内側に綿を所要量介在させて一定の厚みを構成すると共に、所要の綿止めを為し、これを基布から脱落したトルマリン粒子が外に出ないように、不織布その他緻密に織られた布で作った密封袋に収容し、マイナスイオン・静電位発生部材を設け、このマイナスイオン・静電位発生部材を綿、麻等の天然繊維で織った布により作った表皮袋に収納してなるクッション型の健康具

【0015】

【実施例】以下、この発明のトルマリン単独および他の静電位、磁気発生部材との組み合わせまたはそれらとハーブとの複合による健康具を第1の実施例である健康具（クッション型）1を図面により説明すると、図1は、その内部に収納されるトルマリン粒子によるマイナスイオンおよび静電位を発生するマイナスイオン・静電位発生部材2を示すものであって、図3、図4および図5にも示すように、トルマリンの粒子3を接着部材4で基布5の表面に所定の間隔で線状に保定してトルマリン機能布6を設け、このトルマリン機能布6を、例えば図に示すように、二つ折りし、その内側に綿7を所要量介在させて一定の厚みを構成すると共に、所々を糸により綿止め8を為し、これを基布5から脱落したトルマリンの粒子3が外に出ないように、不織布その他緻密に織られた布で作った密封袋9に収容し、マイナスイオン・静電位発生部材2を設けてなるものである。

【0016】前記マイナスイオン・静電位発生部材2を綿、麻等の天然繊維で織った布により作った表皮袋10に収納して第1の実施例の健康具（クッション型）1を構成してなるものである。

【0017】前記表皮袋10の出入口11は、長方形に裁断した布を二つ折りし、重ならない部分を開口部12に構成して両側縁を縫着して袋本体10aを設け、この袋本体10aの開口部12を、反対面の裏側表布10a2を同一幅のまま所要長延長させて構成する蓋布13で覆うと共に、対応する袋本体10aの表側表布10a1に重合させ、かつこの蓋布13の両側縁13a、13b

を袋本体10aの両側縁10a1a、10a2bに縫着してなるものである。なお、この表皮袋10の出入口11は、前記のように、蓋布13が袋本体10aの表布10a2に重合する構造に代えて、図示しないが、ボタン止め、ファスナー止め等の構造としてもよいものである。

【0018】図6は、ハーブ袋16を実施例を示し、ハーブ14を袋体15に収容している。図示しないが、このハーブ袋16を前記健康具（クッション型）1の表皮袋に、マイナスイオン・静電位発生部材2と共に混在し、または図示しないが、表皮袋に作った専用のポケットに収納させてもよいものである。

【0019】図7および図8は、健康具（手首バンド型）17の実施例を示すもので、その内面には出入口18を設け、その内部の収容部19に適合した大きさのマイナスイオン・静電位発生部材2を収容自在であると共に、両端の表裏にファスナー20a、20bを設け、この両端の表裏をファスナー20a、20bにより連結して環状に構成し、手首に巻き付けることができるように設けている。このファスナー20a、20bは、図示しないが、バンド、ボタン等に変えることができる。またその位置も両端の表裏に止まらず中間位置でもよいものである。

【0020】図9および図10は、健康具（足首バンド型）21の実施例を示すもので、その内面には、前記健康具（手首バンド型）17と同じく、出入口22を設け、その内部の収容部23に適合した大きさのマイナスイオン・静電位発生部材2を収容自在であると共に、両端の表裏にファスナー24a、24bを設け、この両端の表裏をファスナー24a、24bにより連結して環状に構成し、足首に巻き付けることができるように設けている。このファスナー24a、24bについても前記ファスナー20a、20bと同様に、図示しないが、バンド、ボタン等に変えることができる。またその位置も両端の表裏に止まらず中間位置でもよいものである。

【0021】前記健康具（手首バンド型）17の収容部19および健康具（足首バンド型）21の収容部23には、マイナスイオン・静電位発生部材2にプラスして所要の大きさのハーブ袋16を混在させてもよいものである。また、図示しないが、健康具（手首バンド型）17に専用のポケットを設け、これに収納させてもよいものである。

【0022】図11および図12は、健康具（腰ベルト型）25の実施例を示すもので、その長さ方向に、図示の如く等間隔で所要の大きさの収容部26a、26b、26cを設け、各収容部26a、26b、26cに連通する出入口27a、27b、27cを内面に設け、各収容部26a、26b、26cに適合した大きさのマイナスイオン・静電位発生部材2を収容自在であると共に、両端の表裏にファスナー28a、28bを設け、この両

端の表裏をファスナー28a、28bにより連結して環状に構成し、腰部に巻き付けることができるように設けている。このファスナー28a、28bについても、前記ファスナー20a、20bと同様に、図示しないが、バンド、ボタン等に変えることができる。またその位置も両端の表裏に止まらず中間位置でもよいものである。

【0023】図13は、健康具（腰ベルト型）25の収容部26bに市販の使い捨てカイロ等の化合発熱体29を収容した実施例を示すもので、収容部26aのトルマリンのマイナスイオン・静電位発生部材2と、収容部26cのハーブ袋16と共に相乗効果が期待できるものである。

【0024】前記健康具（腰ベルト型）25は、図示しないが、仁意の間隔で、大小所要の収容部を設けてもよく、また、各収容部には、マイナスイオン・静電位発生部材2に代えてハーブ袋16を単独に、またはマイナスイオン・静電位発生部材2とハーブ袋16の二つを混在して収容してもよいものである。また、図示しないが、健康具（腰ベルト型）25に専用のポケットを設け、これに収納させてもよいものである。

【0025】前記、健康具（手首バンド型）17、健康具（足首バンド型）21および健康具（腰ベルト型）25には、図示しないが、磁石その他を前記マイナスイオン・静電位発生部材2およびハーブ袋16を収容する収容部に混在して、または独立の収容部を設けて、収容してもよいものである。

【0026】トルマリン粒子から発生する静電位およびマイナスイオンは、東洋医学のツボを電氣的に刺激し、身体に、特に内蔵に良い刺激を与えるものである。また、トルマリン粒子面からマイナスイオンを発生し、マイナスイオンによる身体の細胞の活性化を図るものである。そして、バンド、ベルトで細幅であり、例えば、従来のコルセットのように腰全体を包み腰痛等を治すという目的だったが、装着期間が長期化すると、幅広のために腰の筋肉が弱ってしまうことがある。しかるに、この発明の、例えば、健康具（腰ベルト型）であると、余分な筋肉は固定しないので腰の筋肉は弱らず腰の回りにある「命門」「神闕」「腎俞」「三焦俞」の各ツボを刺激することができ、生命の源、精力、記憶、知力、寿命の源を充実させることができるのである。

【0027】ハーブは、芳香を有する有用植物の総称であり、ハーブから発せられる香りが、鼻から大脳に伝達されると、その香りに対応した生理活性物質が分泌されることが知られており、例えば、ラベンダーの香りは、セロトニンという生理活性物質の分泌を促進し、このセロトニン物質は神経系を鎮静させる物質のため、ラベンダーの香りを用いることで心身をリラックスさせることができるわけである。このハーブを収容したハーブ袋をバンド、ベルトに配置することにより前記トルマリンの電氣的作用およびマイナスイオン作用との相乗効果が期

待できるのである。

【0028】

【発明の効果】この発明のトルマリン単独およびハーブまたは使い捨てカイロとの複合による健康具により身体各部位および心身の治療効果を奏することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の健康具（クッション型）のトルマリンのマイナスイオンおよび静電位発生部材の斜視図である。

10 【図2】同じく、そのトルマリンのマイナスイオンおよび静電位発生部材を収容した健康具（クッション型）の外観斜視図である。

【図3】同じく、図2のA-A線に沿う断面図である。

【図4】トルマリンの粒子を基布の表面に接着剤により線状に保定して設けたトルマリン粒子保定機能布の部分表面斜視図である。

【図5】同じく、トルマリン粒子保定機能布の一部拡大断面図である。

20 【図6】ハーブを通気性の袋に収容したハーブ袋の一部切り欠き外観斜視図である。

【図7】トルマリンのマイナスイオンおよび静電位発生部材を収容した健康具（手首バンド型）の内面図である。

【図8】同じく、その健康具（手首バンド型）の外面図である。

【図9】トルマリンのマイナスイオンおよび静電位発生部材を収容した健康具（足首バンド型）の内面図である。

30 【図10】同じく、その健康具（足首バンド型）の外面図である。

【図11】トルマリンのマイナスイオン・静電位発生部材およびハーブ袋を収容した健康具（ベルト型）の内面図である。

【図12】同じく、健康具（ベルト型）の外面図である。

【図13】トルマリンのマイナスイオン・静電位発生部材、ハーブ袋および使い捨てカイロ等の化合発熱体を収容した健康具（ベルト型）の内面図である。

【符号の説明】

- 40 1 健康具（クッション型）
- 2 マイナスイオン・静電位発生部材
- 3 トルマリンの粒子
- 4 接着部材
- 5 基布
- 6 トルマリン機能布
- 7 綿
- 8 綿止め
- 9 密封袋
- 10 表皮袋
- 50 10a 袋本体

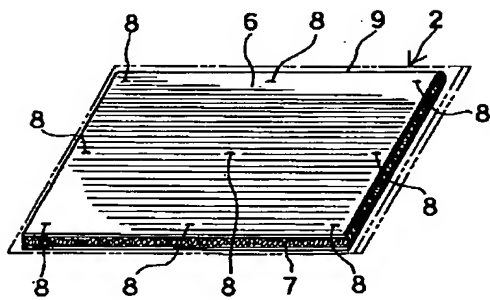
7

8

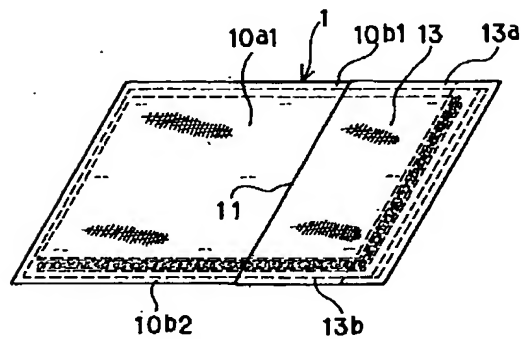
10a1 表側表布  
 10a1a 両側縁  
 10a2 裏側表布  
 10a2b 両側縁  
 11 出入口  
 12 開口部  
 13 蓋布  
 13a 両側縁  
 13b 両側縁  
 14 ハーブ  
 15 袋体  
 16 ハーブ袋  
 17 健康具(手首バンド型)  
 18 出入口  
 19 収容部  
 20a ファスナー

20b ファスナー  
 21 健康具(足首バンド型)  
 22 出入口  
 23 収容部  
 24a ファスナー  
 24b ファスナー  
 25 健康具(腰ベルト型)  
 26a 収容部  
 26b 収容部  
 26c 収容部  
 27a 出入口  
 27b 出入口  
 27c 出入口  
 28a ファスナー  
 28b ファスナー  
 29 使い捨てカイロ等の化合発熱体

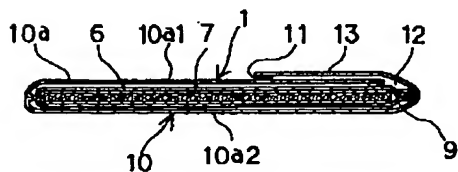
【図1】



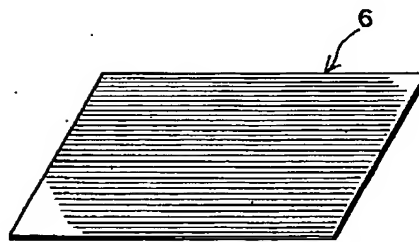
【図2】



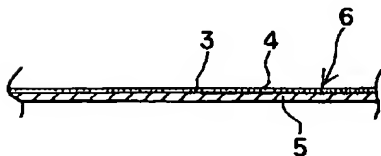
【図3】



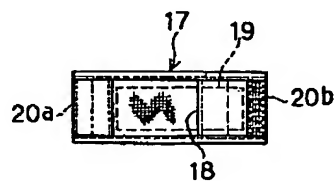
【図4】



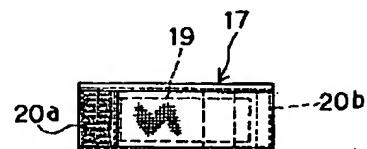
【図5】



【図7】

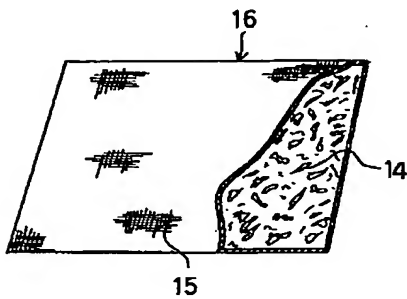


【図8】

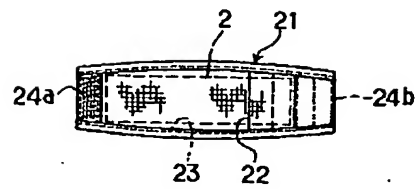




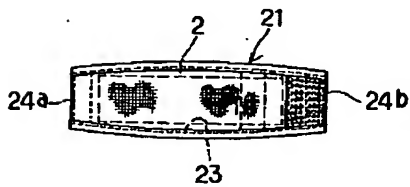
【図6】



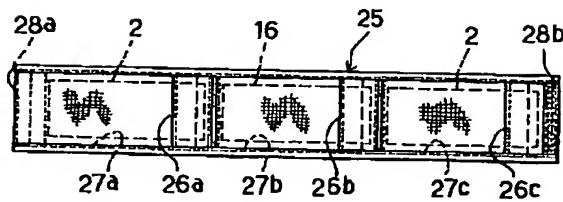
【図9】



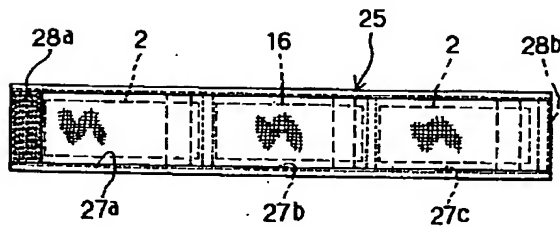
【図10】



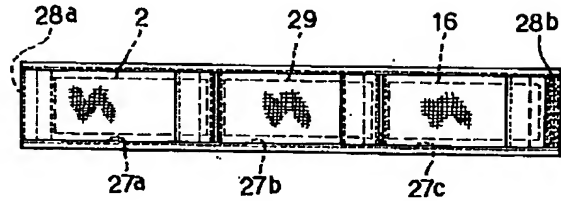
【図11】



【図12】



【図13】



フロントページの続き

(71)出願人 598136415

篠原 康幸

千葉県旭市井戸野974-2

(72)発明者 佐藤 敬

千葉県流山市南流山6丁目5番2号 第一

千代田マンション302号

Fターム(参考) 4C053 EE01 EE13 EE16 EE18 EE20

4C080 AA04 BB03 BB10 CC01 HH05

JJ10 MM01 MM31 QQ11 QQ20

4C106 AA01 BB07 BB09 CC21 CC25

DD01 EE01 EE04 FF04 FF09